

令和6年度 子ども大学にしているま

1. 実施体制

子ども大学にしているま	学長	城西大学 学長 藤野 陽三
	副学長	—
子ども大学にしているま実行委員会	実行委員長	城西大学 理学部教授 森田 勇人
	実行委員 (関係団体)	城西大学、明海大学、坂戸市教育委員会、毛呂山町教育委員会
	問合せ先	城西大学 地域連携センター 事務室 電話：049-271-7713

2. 事業内容

開催回数	4回	開催期間	令和6年7月24日～令和6年9月16日			
参加者数	25名	内訳	小学4年生	8名		
			小学5年生	9名		
			小学6年生	8名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	7月24日（水）	
		10:00～12:10	
はてな学	会場	城西大学	<p style="text-align: center;">入学式の様子</p>
	講義名	入学式・いい塩梅の化石講座～恐竜時代の琥珀を見つけよう～	
	講師	城西大学 宮田真也先生	
2 日目	開催日時	8月1日（木）	
		10:00～11:30	
はてな学	会場	城西大学	<p style="text-align: center;">液体窒素で凍らせたバナナを使った実験中</p>
	講義名	超低温の世界～-196℃のバナナは釘が打てる～	
	講師	城西大学 阪田知己・森田勇人先生	

3. 実施内容

3 日目	開催日時	8月17日（土）	
		9：30～11：30	
は て な 学	会場	明海大学	<p>練習ロボットの説明を受ける様子</p>
	講義名	口の機能は体の健康～口の機能を測定して健康状態を把握しよう～	
	講師	明海大学 星野倫範先生	
4 日目	開催日時	9月16日（月）	
		10：00～12：30	
は て な 学	会場	日本医療科学大学	<p>アリについて学ぶ様子</p>
	講義名	わくわくアリランド～身近な生き物の知らないところ～・修了式	
	講師	日本医療科学大学 環境調査隊サークル	

4. 参加者の声

<p>参加した子供の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・絶滅を年で分けていることを知りました。化石は骨だけでなく、足跡、ふんなども化石ということを知りました。琥珀を探すことをがんばりました。2回目も頑張りたい。・心に残ったことは、化石取りは楽しいこと。・液体窒素はすごかった。ボールやバナナの釘打ち体験がとても楽しかった。・色々な化学薬品がそろっていて、こんな体験めったにできないのでとても楽しかった。特にボールを冷やして破裂させるのが楽しかった。・最近、ロボットを使って診察の練習をしていることが分かった。・歯磨きが大事なんだなと思った。明海大学にいるロボットが怖かった。・子ども大学にしているまで勉強ができてよかった。また来年もやりたい。・いつでもどこでも見られるような身近な生き物のアリは、自分が思っているよりも不思議ですごい生き物だということが分かった。・今回の子ども大学は、初めてだったけどとても楽しかった。貴重な体験をありがとうございました。
<p>保護者の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・全4講義どれも面白いテーマであり、大人の私達も知らない事や新しい発見があったと思う。それぞれ専門の内容がそれぞれのキャンパス・教室で五感を使って学びを得ることができた。子供たちのこれからの成長の1つになった。2024年の夏の思い出トップだと思った。企画・準備して下さった先生方・学生の皆様に感謝。・日程がほとんど土曜日や休日が設定されていたので、働く親には助かった。化石や、バナナで釘が打てる、歯のこと、アリのこと、中々体験できないことから身近な題材まで、端で見学していた親にも楽しく講義を受けられラッキーだった。・どの回も楽しく座学と実験など学ぶことができた。子供の様子など近くで見れて安心した。座って聞くだけよりもクイズなど楽しく学べるところも良かった。・帰宅後もノートにまとめたり、ふとした時に子ども大学で学んだことを話したり、とても記憶に残る印象深い時を過ごせたのだと思っている。学校でも友人に子ども大学で教わったことや経験を話して盛り上がっているようだ。今後も続くといい。